

リーブラ便り

2012年4月号 VOL. 34



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. 男女共同参画週間記念フォーラム2012
 2. 講座案内
 3. 震災をふりかえる～3.11つぶやきリーブラ～
 4. 講座報告
 5. 新年度のご挨拶
 6. リーブラ相談室
 7. 男女平等参画情報
- ★別紙 4月の新着図書ご紹介



1. 男女共同参画週間記念フォーラム2012 “私”がひらく現在・未来 「ゆるやかに ゆっくり たしかに」

リーブラが年に1回、男女共同参画週間に実施している男女共同参画週間記念フォーラム。今年は、6月22日（金）、23日（土）の2日間にわたって開催されます。いよいよ約2ヶ月後に迫ってきました。

今年は、「ゆるやかに ゆっくり たしかに」をキャッチフレーズに準備しております。下記に実施が決まりました主講演、講座、ワークショップ12企画と展示2企画をお知らせします。どうぞお気軽にご参加下さい。詳しいスケジュールは、4月末に完成、配布予定のパンフレットやポスターをご覧ください！

【6/22（金）】

- ・「子どももおとなも集まれ！
リーブラ子育て交流ひろば」
- ・「家族・一族で争わない
正しい相続について学び、実践する」
- ・紙芝居「たったひとつの人生に捧げる後見物語」
- ・「サラリーマン男性の平均小遣い額
3万6500円は妥当か?!」
- ・「社会的企業がひらく」

【6/23（土）】

- ・「性同一性障害を知っていますか」
- ・「港区男女平等アシストプラン報告会」
- ・「自分を大切に育てる子どもを育てるためには」
- ・「知ってためになるお葬式あれこれ」
- ・「『男女共同参画社会』の実現にむけた
日本の現状と世界の実態」
- ・参加型合唱劇「歌は生きる力 そのⅢ」

【展示企画】 広河隆一写真展「チェルノブイリの今とフクシマ原発震災・フクシマで何が起きたのか」、「私たちの危機管理その2～男女平等が実現された避難所って?～」

主講演「不安から希望へーアメリカの失われた十年が私たちに教えてくれる事ー」



講師の堤 末果さん

6月23日（土） 13:30～15:30 終了後15:30～15:45サイン会

私たちは3.11の大震災と原発事故を体験し、放射能汚染の中で漫然とした不安を感じています。非常時のときこそ、公平さや、平等に敏感でありたいもの。

アメリカで9.11同時多発テロを体験し、社会へ発言を続ける堤末果さんからの「不安から希望へ」のメッセージ。

【堤さんプロフィール】国連婦人開発基金、アムネスティ・インターナショナルNY支局員を経て、米国野村證券の勤務中に、アメリカで9.11同時多発テロを体験。以後ジャーナリストとして活躍、執筆、講演活動を続ける。
主な著作は『社会の真実の見つけ方』、『ルポ・貧困大国アメリカ』など多数。

2. 講座案内 (リーブラ主催講座・学習活動支援事業)

「ふらっとリーブラ」5月

『リーブラ読書会 & ブックカフェ』

- 日時：5月30日(水)
- 会場：3階 学習室E
- 【昼の部】①14:00~15:30
【夜の部】②19:00~20:30

■内容：“女性漫画家の本”をテーマに、気楽なおしゃべりを楽しみませんか？参加者が“お題”の本をながめる時間をとった後、下記の作品をテーマに、気楽に参加者同士でおしゃべりします。

スタッフが簡単なあらすじ・作家紹介もするので、未読の方もお気軽にご参加ください。お題は、よしながふみ『大奥』『愛すべき娘たち』、細川貂々『ツレがうつになりまして』、益田ミリ『すーちゃん』他。

- 参加費：無料
- 定員：各15名
- 申込：予約不要(先着順)
- 保育：あり・無料 ※要予約(1歳から未就学児まで)
- ①14:00~16:00
- ②18:30~20:30
- 保育申込締切:5月16日(水)

家事に、子育てに、仕事に、介護に…
「いそがしくて、最近、本も読んでないな〜」・・・そんなあなた。
たまには日常をはなれて、のんびり、読書を楽しんでみませんか？



同時開催！ブックカフェ

■ 13:00~20:30

同じ会場を開放し、おすすめ本を展示。椅子やテーブルもゆったりと配置します。お子さま連れであればらと楽しむもよし、仕事帰りにゆっくりと読むもよしです。

活動助成事業 ワークショップ

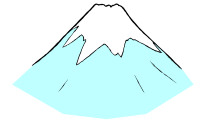
「お墓を学ぶ

ーこれからのお墓を皆で考え学ぶー

主催：ネットワークリーブラ

港区婦人団体連絡会

- 日時：5月19日(土)
13:30~16:30
- 会場 4階 集会室3



■講師：長江曜子さん(聖徳大学教授、日本初のお墓プランナー、死にまつわるデス・ケアサービスの葬送アドバイザー)

■内容：◇第1部 講義 お墓に関する一般論、法律、社会概念およびその変化等

◇第2部 質疑応答 意見交換、経験者、参加者の事例発表等

- 参加費：無料
- 定員：30名(予約不要・先着順)
- 保育：あり・無料 ※要予約(1歳以上未就学児まで)

保育申込締切：5月10日(木)

■手話通訳：要予約 締切：5月8日(火)

■お問い合わせ先：03-3582-8043

大森

3. 震災をふりかえる ~3.11つばやきリーブラ~

東日本大震災から、一年がたちました。甚大な被害のあった東北の被災地では、ひきつづき、迅速な復興支援が望まれているのが現状です。そんな被災地をはじめ、あの日から、わたしたちの暮らしや環境、思い、感じ方も、さまざまに変わったのではないのでしょうか。リーブラでは2月初旬から、3階掲示板にて『3.11つばやきリーブラ』を開催しました。そこでは、皆さんの心のなかに浮かぶ思いを、木の葉にのせて、“つばやき”という形でお寄せいただきました。その一部をご紹介します。

「3月11日はどなたもドラマがありました。抱え込んでいても、自然の力でゼロになることを痛感！今まで以上に思い切った人生にしたいと思い、秋にショップを立ち上げました。地域で『集える場』に育ててもらえるようになりたいな」

「割れ物を買えなくなりました(コップ、お皿など)」



「3.11から1年…少しずつ被災地外の人々は、被災地のことを忘れていないのでは…?!何年経っても忘れずに支援の心を気持ちを忘れずに…!!と思う今日この頃です」

「東北が好き だってあなたがいるから」



「人から思いやりや真心を不意にしてしまうことが多くないかなあ…これじゃ人と人が結びつくよりも嫌な思いをして離れてしまうよなあ…」

「女性支援 何も変わっていない…」

「命のきずな 心のきずなを大切にしよう」

「3.11のあった昨年の地震は一生忘れられない。大地がゆっさゆっさと大きくゆれ、この世の中がどうなるのかと思った。その後、TVで放映される津波の映像の繰り返しの中で、東北の被災地の方々に、あまりの大変な災害に、言葉が…どう言葉掛けして良いのか…今も、私に出来る事を考えている…」

「被災地の方々はこれからも大変だと思います。女性、子どもが2次被害にあわないことを願っています」

「やけっぱちの人が増えた 古い人類の在り方を問われている →復興ではなく 新しく生まれ変わることが必要」

「未だ亡骸さえ戻らない方々もいらっしやることを思うと言葉もありません。」



沢山のメッセージを、ありがとうございました！

4. 講座報告（リーブラ主催講座）

「ママのためのリフレッシュ講座 ーアートでほぐすココロとカラダー」

- 実施日：3月18日（日）
- 参加人数：9名



講師の沢月さんによる実演

子育てをしている女性たちがさまざまなワークを通じて、自分自身の感性や好みを再発見することでココロとカラダをほぐす講座を開催しました。最初にタロットカードを使った自己紹介をしてから、身体ほぐし、垂らし絵の共同制作を行い、最後に絵を見ながらの物語作りを行いました。



赤・青・黄色の絵の具を好きなように垂らし、そこにパステルやクレヨンで絵を描きます。数分ずつで隣に移り、他の人が描いた上にまた描き足しました。

みなさん大胆に色で遊び、久々に自分自身の感性を使うことができ、「楽しかった」という感想が多く寄せられました。知識や情報を獲得する講座に加え、「感性」や「遊び」を活かす講座を今後も実施したいと思います。制作した絵は、3階の学習室D前の廊下に展示していますのでご覧ください。

「個性を育てる保育とは？ ～男女平等で自分らしく生きる～」 港南保育園

- 実施日：3月15日（木）
- 参加人数：24名



幼児教育や保育現場について知識・経験豊かな講師から、保育者の役割、男女平等保育のあり方について具体的な話をうかがいました。保育者の役割は「保護者に対しては、親として育つための支援、子どもたちに対しては、養護と教育の一体的な提供を行うことであり、サービスではない」という強いメッセージが投げかけられ、改めて保育という仕事をふりかえり、その役割を考えてもらう機会となりました。

男女平等保育について、事前に参加者にアンケートを実施し、保育の現状や保育士の意識を把握した上で、それにコメントする形でジェンダーの問題につなげた説明をすることで、参加者の理解が促進されました。

研修後のアンケートでは、今回の研修が今後働く上で有益な内容であったとの感想が多く、今回の研修で気がついた、各参加者の課題が多数あげられていました。特に無意識のうちに男女を区別していたことへの気づきは大きく、今後の保育現場における男女平等意識に基づいた個性を育てる保育環境の促進が、期待できました。

女性限定

「離婚が頭をよぎったら聞く・聴く・効く講座」 ーベストな人生選択のためにー

講師：弁護士・伊藤和子さん
エープラス代表・吉祥眞佐緒さん

- 実施日：3月25日（日）
- 参加人数：41名

3月末の日曜日に開催された、離婚が頭をよぎった時に知っておくと役立つ、法律知識や考え方を学ぶ女性対象の講座は、定員以上の方がお申し込みされ、広い会場に変更しての開催となりました。

タイトルから「離婚をすすめる講座」と思われる方もいるかもしれませんが、リーブラでは、女性が夫婦関係に悩んだ時に、必ずしも離婚を選択しなくても、よりベストな人生選択ができるために必要な知識を学んでいただく講座として企画しました。講師のお二人からは豊富な配布資料をご用意いただき、多角的な視点でお話いただくことができました。

弁護士の伊藤和子さんは、離婚の手続き、離婚方法から、親権、財産分与、面接交渉、慰謝料、年金分割、配偶者からの暴力があった場合の注意点など、具体的に役立つ法律知識についてお話しいただきました。

DV被害者支援団体代表の吉祥眞佐緒さんは、ご自身の離婚をきっかけに法律知識を学び、現在はDV被害に悩む女性の支援をされています。講座ではご自身のご経験をもとに、団体で作成された「離婚ハンドブック」を使ってお話しされました。



離婚に迷っている場合はどうすればいいか、離婚調停のこと、準備するもの、自分や子どもの心身チェックリスト、別居・同居する場合の注意点まで、当事者に沿った視点から役立つ知識をお話しいただきました。吉祥さんが、離婚

・別居・同居それぞれの選択をされた相談者の事例を話された時には、参加された何人もの方々が、涙を流しながら聴いておられました。

弁護士の伊藤さん



吉祥さんと配布資料の離婚ハンドブック



講師のお二人への質問タイムでは、たくさんの方からの質問が飛び交い、講座終了後も、個別に質問を希望する方々が列をつくるほどでした。

なお、講座では、リーブラ相談員から、「港区ひとり親支援について」のご案内やひとり親に関する相談機関・港区家庭相談センターのご紹介やリーブラ相談室のご案内をするなど、役立つ情報もお知らせいたしました。

終了後のアンケートには、「定期的に開催してほしい」との声が多数寄せられ、このような内容に対する皆さんの関心の高さがうかがえます。

今後もリーブラでは、男女平等の観点から、皆さんのニーズにこたえる講座を開催してまいります。

5. 新年度のご挨拶

(株)キャリアライズが指定管理者としてリーブラの運営を始めて、3年が経ちました。私は立ち上げ時よりリーブラで事業推進を担当していましたが、本年度より館長の任に就き、リーブラ事業の更なる充実と発展を担っていく決意を新たにいたしました。改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

この3年、「港区の男女平等」を実現するために、何をなすべきかを常に考えつつ、安定運営を目指しスタッフ一同、日々業務に取り組んで参りました。

運営協議会や交流懇談会、フェスティバル、フォーラムなどの区民参画による事業を通じ、創立以来30年を越えるリーブラの長い歴史の中で、リーブラが担ってきた役割や、利用者の皆さんの活動にかけける熱い思いを知ることができました。このことにより、これまで企業という社会で生きてきた私の中に、新たな価値観が生まれ、大きな学びとなりました。

3年間の経験から、確信を持っていえることは、「区民・区・指定管理者の3者が互いに尊重し合い、それぞれの立場や役割を認識し、強みを活かし、弱みを補完しあうことができれば、できることは確実に増える」ということです。

男女平等の実現のため、指定管理制度をうまく機能させ、最大限の効果を生み出す「協働」の実現に向けて取り組む所存です。

今後とも宜しくお願いいたします。

館長 中村美穂

平成23年度 第11回運営協議会

3月29日、23年度最後の運営協議会が開催されました。23年度は新リーブラについて、さまざまなテーマで委員のみなさんからご意見をいただきました。23年度末で委員の任期は終了しましたが、24年度以降に確実に引継ぎ、さらに検討を進めていきたいと思っております。

6. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

リーブラ相談室23年度の相談件数は、昨年よりも約15%増加し、港区在住・在勤・在学の相談者も約13%増え、区内の方々へ広く周知される相談室になってきていることがうかがえました。相談内容で最も多かったのは「DV相談」、次いで「夫婦」「生き方」でした。

相談室では火曜日・金曜日の夜間にも相談を受けており、昨年度、職場のハラスメント被害の相談も増えました。なかには、職場の上司からハラスメント被害を受け、うつ病を発症し、休職を余儀なくされている相談者もいました。リーブラ相談室では、家庭や職場において、男女平等・人権に関わる問題を抱え、悩まれている方の相談を受けています。今年度もどうぞご利用ください。

<開室曜日・開室時間>
火曜日 16:00～20:00
水曜日 10:00～16:00
金曜日 10:00～16:00
金曜日 18:00～21:00
03-3456-5771 (専用電話)

※面談は事前にご予約ください。電話相談も可能です。ご相談もご予約も。上記の利用時間内に専用電話にてお願いします。

7. 男女平等参画情報 ～人と人をつなぐ、アウェアネスリボン～

皆さん、アウェアネスリボンをご存じですか？アウェアネスリボンとは、輪状に折った短い一片のリボンや、リボンの絵のことで、“Awareness”とは“気づき”の意味です。現在確認されるものだけでも11色、66の意味で使われています。世界各地で展開されており、リボンを身につけたり、飾ることで、誰もが簡単に、社会問題に対するさりげない支援や賛同を示せ、また、目にする人たちに“気づき”をうながすのです。日本では、民間企業や行政、NPOなどがコラボしたキャンペーンも開催され、「乳がんの早期発見や理解を求め」ピンクリボン、「HIVの理解と支援」を示すレッドリボンなども、よく目にするようになりました。

そしてリーブラで、最も大切にしているのが「女性への暴力の根絶を訴える」パープルリボンです。パープルリボンは、世界を子どもや暴力の被害者にとってより安全なものにすることを目的とし、1994年アメリカの小さな町で、近親姦やレイプのサバイバー、その支援者により生まれました。「個人間の暴力や虐待に関心を呼び起こすとともに、暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えようとの願い」（内閣府）がこめられています。リーブラのテーマカラーであるパープルにも、女性たちへの賛同と支援の想いがこめられています。今年11月にリーブラ開催の特別展示『女性に対する暴力をなくすために 私たちにできること』でも、パープルリボンをテーマにした作品や展示を出展される方、またそれを観覧する方など、様々なかたちでのご参加をお待ちしております。まずは身近なリーブラで、パープルリボン運動に参加してみませんか？



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日:2012年4月20日